

『やさしい 建築構造力学 演習問題集』第1版第1刷 (2018年8月5日発行) 正誤表

単元番号	単元名	ページ	誤植箇所	誤	正
問題冊子					
3・1	力の釣り合い▶ 平行な力	16	式②となる答え	$P_A = 110\text{N}$	$P_B = 110\text{N}$
3・1	力の釣り合い▶ 平行な力	16	式①に式②を代入した答え	$P_B = 100\text{N}$	$P_A = 100\text{N}$
8・1	断面に関する数量▶ 図心・断面1次モーメント	78	X軸、Y軸についての答え	$(x, y) = (3.21\text{cm}, 3.50\text{cm})$	$(x, y) = (3.50\text{cm}, 3.21\text{cm})$
11・1	たわみ▶ たわみ・たわみ角公式	98	「代表的な梁のたわみ、たわみ角」の表中、 ①のたわみ角 θ の公式	$\delta = \frac{Pl^2}{2EI}$	$\theta = \frac{Pl^2}{2EI}$
			「代表的な梁のたわみ、たわみ角」の表中、 ④のたわみ δ の公式	$\delta = \frac{5wl^4}{348EI}$	$\delta = \frac{5wl^4}{384EI}$
13・1	塑性解析の基礎▶静定構造	107	問題1の問題文中の条件式	$\sigma_y = 150\text{N/mm}^2$	$\sigma_y = 160\text{N/mm}^2$
		108	外力のなす仕事の式 (左辺)	$P_u \times \theta$	$P_u \times \delta$
解答解説冊子					
1	基礎計算	2	問題2(4)の答え	$\sqrt{3}$	3
2・3	力の基礎▶合力	3	問題2の答え	$x = 6\text{N}$	$x = 6\text{m}$
4・2	反力▶片持ち梁の反力	7	問題1(1) M_A の答え	$150\sqrt{3}\text{kN}$	$150\sqrt{3}\text{kN}\cdot\text{m}$
5・4	部材に生じる力▶片持ち梁	14	問題2(1) Q図内の答え	$-20\text{kN}\cdot\text{m}$	-20kN
6・2	部材に生じる力▶梁	16	問題2(2)の解説図中の 計算式	面積 AE $=40 \times 20 + \dots\dots$	面積 AE $=40 \times 2 + \dots\dots$
9・2	応力度▶ 曲げ応力度・せん断力度	25	問題1(3)の答え	$4 \times 10^6\text{ mm}^3$	$24 \times 10^6\text{ mm}^3$
			問題1(4)途中の 計算式	$\frac{480 \times 10^6\text{ N}\cdot\text{mm}}{4 \times 10^6\text{ mm}^3}$	$\frac{480 \times 10^6\text{ N}\cdot\text{mm}}{24 \times 10^6\text{ mm}^3}$
			問題1(4)の答え	120 N/mm^2	20 N/mm^2
			問題1(4)の答え 「曲げ応力度」図中の数値	120 N/mm^2	20 N/mm^2

お詫びして訂正いたします。

2024年11月18日

学芸出版社編集部